RSウイルス感染治療を受けられる患者様へ

RSウイルス感染症パス【18014−00】

患者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿様　入院病棟：＿＿＿＿病棟　主治医：＿＿＿＿＿＿＿＿　受け持ち　看護師：＿＿＿＿＿＿＿＿　No1

日付	／	／	／	／	／
入院日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
イベント	入院日	治療中			退院日
目標 毎日看護師と評価します	・呼吸状態の悪化がない ・感染予防行動（手洗いなど）がとれる	・呼吸状態が安定している ・感染予防行動がとれる		・呼吸状態が安定している ・口から飲んだり食べたりできる	・酸素投与や吸引処置の必要がなく、呼吸状態が安定している ・退院後の生活や、異常時の対処方法について理解できる
内服 注射					
検査	・必要時、医師の指示で採血・胸部レントゲンをとります ・体重測定を行います				
治療 処置	・点滴を２４時間行います ・酸素が必要なことがあります ・必要時 、 去痰薬・鎮咳薬の内服薬が開始になります ・状態にあわせて気管支を広げて痰を出しやすくする吸入やスクイージング（胸のマッサージ）を行います ・１日３回検温（６時・１４時・１９時）を行いますが、熱がある場合などは随時行います ・手や足の指で 酸素濃度を測ることもあります ・自分で痰や鼻水が出せない場合は吸引を行います				退院基準：　酸素や吸引処置の必要がなく 呼吸状態が安定している
食事 飲水	・毎日１５：００時におやつがでます（★離乳食・特別食ではつきません）				
清潔	・看護師が毎日身体を拭きます（点滴中、着替えを手伝います） ・日中、看護師が点滴部位の保清を行います(点滴中は毎日) ・状況に応じて洗髪が可能です				・点滴が抜けたら、シャワー浴ができます
排泄	・排泄回数のチェックをします（専用の用紙に書いてください。） ・紙おむつは 室内にある専用 の BOX に 捨てて ください				
安静 活動	・室内、トイレ歩行のみ可です				
説明 指導	・１階の入退院窓口で入院手続きを行って下さい ・看護師が病棟案内及び入院生活について説明します ・処方されている薬の内服方法や吸入について説明します ・点滴をしている場合やサークルベッド使用時は特に転倒・転落に注意してください ・手洗い、うがいは充分に行って下さい ・お子様がお部屋の外に出られる場合は必ずマスクを着用してください ・毎日、主治医の回診があり、病状や検査結果について説明があります 疑問な点は遠慮せずに聞いてください ※　状態に応じて予定と異なる事もあります 何かわからないことは、いつでもお尋ねください				・看護師が退院手続きを行います ・手続きができ次第、事務担当がお部屋まで納入通知書をお届けします ・納入通知書を持って、１階自動外来会計機で精算をしてください ・忘れ物がないか確認いたしますので、お部屋でお待ちください ・体温計を返却して下さい ・退院後の注意点など説明いたします ・退院処方がある場合、薬剤師が訪問し退院薬をお渡しします

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります

市立札幌病院　小児科・３階東病棟　2004年10月15日作成・2024年１１月改訂